

## パンフレットの修正・更新のお知らせ

ホームページ「小児・若年がんと妊娠」に掲載中のパンフレットをご利用いただきありがとうございます。このたびパンフレットの修正に伴いダウンロード用 PDF を入れ替えましたので、お知らせ致します。

今後も適宜更新をさせていただく予定ですので、最新版をダウンロードしてご利用いただきますようお願い申し上げます。

### <2020年3月修正事項>

#### パンフレット：女性用<これからがんの治療を開始される患者さまへ>

1、7ページ 下の表 妊孕性温存方法の比較

(修正前) 出産例 卵巣組織凍結保存 30例以上

(修正後) 出産例 卵巣組織凍結保存 100例以上

2、11ページ 生殖補助医療を用いた妊よう性温存方法にかかる費用

(修正前)

- カウンセリング料：初回 5000 円、再診 2000 円
- 受精卵凍結：約 35 万円
- 卵子凍結：約 35 万円
- 卵巣凍結：約 60 万円
- 精子凍結：約 5 万円
- 凍結保存した場合の更新料：約 2~6 万円/年

(修正後)

- カウンセリング料：数千~1 万円前後
- 卵子凍結保存：約 20~40 万円
- 胚（受精卵）凍結保存：約 30~50 万円（卵子と胚の順番を入れ替え）
- 卵巣組織凍結保存：約 60~80 万円（+移植 60~80 万円）
- 精子凍結保存：約 5 万円（精巣精子採取術を併用した場合 約 40~50 万円）
- 凍結保存した場合の年間更新料：約 2~6 万円
- 凍結精子を使った顕微授精：約 40 万円

3、裏表紙にバージョンを記載しました。 Ver.1.2（2020年3月改定）

<2020年3月修正事項>

パンフレット：男性用<これからがんの治療を開始される患者さまへ>

【修正箇所】

1、9ページ 生殖補助医療を用いた妊よう性温存方法にかかる費用  
(修正前)

- カウンセリング料：初回 5000 円、再診 2000 円
- 精子凍結：約 5 万円
- 凍結保存した場合の更新料：約 2～6 万円/年
- 凍結精子を使った顕微授精：約 40 万円

(修正後)

- カウンセリング料：数千～1 万円前後
- 精子凍結保存：約 5 万円(精巣精子採取術を併用した場合 約 40～50 万円)
- 凍結保存した場合の年間更新料：約 2～6 万円
- 凍結精子を使った顕微授精：約 40 万円

2、裏表紙のバージョンを変更しました。

(修正前)

Ver.1.2 (2018年4月改定)

(修正後)

Ver.1.3 (2020年3月改定)